

# そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。また、議員名の横の2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は1年間です)。

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。6月定例会では、15名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】



## 自治体間競争に 勝ち抜くための人口減少対策

内藤 光雄 (新政みらい)



### その他のテーマ

- ▶ 転出者の動向と出生数の推移
- ▶ 狭山市出身者の呼び戻し策
- ▶ 誇りをもてる街づくりとは

#### ◆若者の定住増加で人口減少に歯止めを

- ① 転入転出者への調査結果と得られた課題は。
- ② 近年の出生数の推移と課題は。
- ③ 狭山市で生まれ育った若者の呼び戻し対策は。
- ④ 将来を見据えた「誇りをもてる街づくり」についての考えは。

**総合政策部長** ① 転出入者に実施した4,565件のアンケート結果では、転出が転入を1,141人上

回った。主な理由は仕事や結婚で、20歳代から30歳代が多い。転出先は県内他市や東京都が多く、都心回帰の傾向が顕著に表れている。

② 24年が1,099人、25年が1,013人、26年が1,031人で、晩婚化、未婚化、晩産化などにより減少傾向にある。

③ 安定した雇用の創出と子育て環境の充実、手ごろな住宅物件の案内、また、これらを後押しできる補助金制度も検討していく。

**市長** ④ 狭山の魅力を発掘し、また新たな魅力を創造することで、市民一人ひとりが狭山市に生まれ、暮らしてよかったと思えるような、郷土愛を醸成できると考えている。そして、すべての市民が、狭山市が好きで住み続けたい、そうした街づくりが大事だと思っている。



入間川七夕祭りは市民の大きな誇り



## 狭山市の知名度向上と自治体間競争

土方 隆司 (新政みらい)



### その他のテーマ

- ▶ 夢のある施策
- ▶ 狭山市の資源と活用

#### ◆積極的な情報の発信

知名度向上に対する市の見解と取り組みは。**総合政策部長** 交流人口や定住人口を増加させるには、狭山市に関心を持ってもらうことが重要で、知名度向上は郷土愛醸成につながり、住み続けたい動機になると考える。具体的には、フェイスブックやツイッターといったSNSなど、



インターネットを活用した対外的な情報発信と、新聞やテレビなどマスメディアに向け情報を発信するパブリシティ活動で、積極的かつ戦略的な情報発信を行っている。

#### ◆人口減少対策

自治体間競争に対する市の見解と対応は。**総合政策部長** 転出超過が本市の人口減少の要因の一つなので、定住・交流人口増加のため、企業や大学などの誘致が有効と考えているが、多くの自治体が人口を取り合うことだけを念頭に同様の施策を実施した場合、自治体の疲弊も懸念される。当市では、智光山公園など持てる資源に磨きをかけ、少子化対策にも寄与する、実効性のある施策を検討し実践していきたい。



## できることから 入曽駅前の交通安全対策を

三浦 和也 (かがやき)



### その他のテーマ

- ▶ 茶の花号を農産物直売所近くへ
- ▶ 生活保護、困窮者の自立支援
- ▶ 法を活用して空き家対策を

#### ◆茶の花号の停留所やルートを改良できれば…

① 朝夕の時間帯、入曽駅東口駅前に茶の花号が止まると、自動車が渋滞して危険。例えば、バス会社折り返し場への停留所移動を。

② 高齢者支援と経済活性化。農産物直売所の近くへバスルートの延伸と停留所の新規設置を。

**市民部長** ① 現在の停留所は、入曽東循環コースと通勤通学コース、路線バスの停留所も兼ねており、鉄道への乗り継ぎの利便性を考慮すると、現位置での乗降が適当と考えている。

② 延伸に伴い、時刻表や案内パンフレット、車内案内放送の更新経費やルートの延長に伴う運行経費の増加などが見込まれる。まずはそれらの経費を把握した上で、早期に庁内での検討を進めていく。

#### ◆空き家対策特別措置法を活用してほしい

特定空き家等へ市ができることは、いつまでに空き家等を調査、特定空き家等を決定するか。

**環境経済部長** 市は所有者などに、助言、指導、勧告、命令、行政代執行が段階的に行える。本年度中に、調査の実施と、危険度が高い空き家などに順次特定空き家等の決定を行い、適正な指導や勧告などを行う。



## 誰もが外出しやすいまちづくり

大沢 えみ子 (日本共産党)



### その他のテーマ

- ▶ 「バス待ちスポット」の設置
- ▶ シルバーパス実現への協議
- ▶ 第4次総合計画への位置づけ

#### ◆ユニバーサルデザインの交通政策

① 高齢化が進む中で、誰もが歩きやすい仕組みを行政が積極的に進める必要がある。県が実施している「バス待ちスポット」やベンチ機能のついた花壇、ツリーサークルなどの街路備品(ストリートファニチャー)を市内に設置していく考えは。

② シルバーパスの実現に向けた具体的協議は。**都市建設部長** ① バス待ちスポットは、県内17市町229施設が登録されており、近隣では川越市に3カ所、日高市に1カ所ある。当市でも、当事業の普及啓蒙に向けて検討を進めていく。また、ストリートファニチャーの設置は、今後の研究課題としたい。

**総合政策部長** ② 昨年実施した、ダイアプランシ

ニアパスの実証実験は、おおむね好評であった。しかし、当該パスの購入者がダイア4市合計で160人と少なかったため、西武鉄道(株)からさらに多くの市民の意識調査が必要との意向が示されたことから、本年度中にダイア4市によるアンケートを実施し、その結果を踏まえ、事業者である西武鉄道(株)と協議していく。



バス待ちスポットに張るステッカー

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧にならない方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。

04-2953-1111 内線3313